

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371100666
事業所名	有限会社ほほえみグループホーム日陽

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入し子供110番を引き受けている。ご近所からは畑の作物をよくいただく。ホームの秋祭りにはご近所にも呼びかけ、参加してもらっている。薬剤師を招いた「薬の飲み方・副作用・認知症の薬」についての講演会には地域にも呼びかけ、参加してもらった。地域のボランティアサークルも定期的に訪問してくれる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	職員・管理者・他施設経営者・家族・町内会役員・地域包括センターを交え、隔月に、今年度も6回開催した。議事録は各フロアに常備され、リーダーが回覧を促しているが、会議の内容が浸透していないとの反省もあり、月々の定例会議等で口頭での伝達を検討している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	以前は遠方の区役所まで出かけていたが、近所の支所に権限が移管され、月に何度も訪問・相談している。介護課職員に認知症の専門知識をレクチャーして帰ってくることもある。認知症に関する薬の勉強会を回覧版で広報し、地域住民も参加してくれた。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	今年も2回以上の家族会開催があり、ホーム便りも毎月発行されている。運営推進会議では家族から、活発に改善提案がなされている。介護度の重度化・高齢化に伴い、終末期は手におえない家族や、「ホームへ帰りたい」という本人の意向に応じて、看取りを行っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○	○	○	

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。